

# 理工学部 NEWS

第3号 (2017.5)

発行者：理工学部支援室

<http://www.hino.meisei-u.ac.jp/sae/>



## 機械工学系で「RoboCup Japan Open 2017 レスキュー実機リーグ」に参加しました

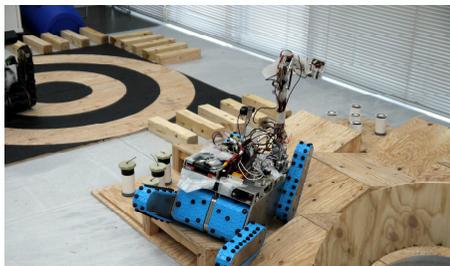
機械工学系・山崎芳昭研究室では、地震災害等で倒壊家屋の瓦礫の下に残された被災者の発見を補助する目的で、遠隔操縦型や自律走行型のレスキューロボットを研究開発しています。

2017年5月3日(水)～6日(土)に開催された「RoboCup Japan Open 2017 愛知 レスキュー実機リーグ」に学生6名と指導教員で参加し、不整地や坂、瓦礫等を模擬した16種類の競技フィールドでの走行、および搭載したロボットアームとセンサ等による被災者発見を模擬した9種類のターゲットの認識と操作性能を競いました。

明星大学の遠隔操縦型ロボット(Meisei Rescue Mk-5)は参加11大学中5位の総合成績でした。

他大学との意見交換や技術交流を図ることにより、レスキューロボットに関わる技術情報の共有や当該分野の活性化を図っています。

1. 大会名称 RoboCup Japan Open 2017 愛知 レスキュー実機リーグ
2. 開催場所 愛知工業大学千草キャンパス
3. 開催日時 2017年5月3日(水)～6日(土)
4. 参加者 合計7名  
学部4年生 青木 雅和、阿部 浩之、河村 理聡、小久保 暁人、萩原 颯人  
学部3年生 井上 啓
5. 大会結果 参加11大学中5位の成績
6. 概要 詳細は、総合理工学科オリジナルサイトをご覧ください。



## 電気電子工学系の学生が多摩動物公園内の配電設備を見学しました

2017年5月5日(金)、電気電子工学系の学生3名(4年生1名、3年生2名)が多摩動物公園内の配電設備を見学しました。

専門分野である電線や通信設備が公共の施設内でどのように使われているのか観察し、習得した知識を大学での研究に活かすことが目的です。

園内では高圧配電線、低圧配電線、情報通信線が別々の地下配管になっていること、また動物園の外辺では低圧配電線と情報通信線が電信柱と架空線によって配備されていることを確認しました。

参加した宮野さん(3年生)は、「地下に電線を配備するという景観を保つための工夫に気づいたことで、建築物の見方に新たな視点が加わりました」と感想を語ってくれました。

参加学生：永嶋 嘉寛(4年生)、大森 智保(3年生)、宮野 将希(3年生)



参加した学生3名と  
星野先生(右)

地下配管の電線をマンホールで確認する学生たち



## 夏休み科学体験教室に向けて

「夏休み科学体験教室」とは、地域の小・中学生に「科学」の楽しさ・おもしろさ・夢を伝えるために、理工学部が毎年企画している地域密着型の体験教室です。

理工学部の1年生が、必修科目「プロジェクトI」の授業を通して学んだ内容を、当日集まった小・中学生の先生となり、授業や実験を行います。今年度は7月23日(日)に開催予定です。

当日に向けて1年生は着々と準備を進めています。5月16日(火)の授業では、小学生にわかりやすい実験内容を心がけ、成功の可能性を高めるために実験の試行錯誤が繰り返されていました。

浮力の不思議をわかりやすく伝えたい！  
建築学系「空気のちから、水のちから、砂のちから」



表面張力についてミルククラウンを作って考えます！  
物理学系「スマートフォンでミルククラウンを撮影しよう」



作用・反作用についてペットボトルロケットを通じて学ぼう！  
機械工学系「ペットボトルロケットを作って飛ばそう！！」

